

平成 23 年度事業報告

1 事業概要

- (1) 平成 23 年度は、3 月 11 日の東日本大震災と原子力発電所の損壊等、大変なショックと暗澹たる思いの幕開けとなった。その後も、夏場の電力供給不安、記録的な豪雨災害の発生、急激な円高の進展、欧州債務問題、タイの大洪水等が続く激動の 1 年であった。改めて、東日本大震災による被災者の皆様に、哀悼の意とお見舞いを申し上げるとともに、復旧・復興のスピードアップが望まれる。

当協会は、夏場の節電要請に対する技能講習等の秋口以降への日程振り替えや義援金活動（878,434 円、日赤神奈川県支部）を行った。

そうした中で日本経済は、平成 23 年度経済成長率が 2 年ぶりのマイナス成長、物価も 3 年連続のマイナスとデフレが続いた。

- (2) 当協会は、平成 23 年 4 月 1 日に新たに「公益社団法人神奈川労務安全衛生協会」としての出発に伴う看板表示等の変更、ホームページの拡充、支部光回線敷設、新たなパンフレットの作成等の整備を行ってきたが、事業環境は大変厳しいものとなった。

主要事業である技能講習等については、特に年度前半の社会経済情勢の影響を受け、特別教育で△49 名、安全管理者選任時研修等で△245 名、作業主任者・技能講習で△985 名などで、前年度に引き続き減少し、全体として 17,739 名（前年度比 1,529 名減）となった。平成 20 年度の実績が 23,885 名であることから、この 3 年間で 6,146 名の受講者数の減少となり、本部・支部ともに事業運営への影響が大きいものとなった。

なお、平成 23 年度から、技能講習 4 科目（玉掛け、床上クレーン、ガス溶接、フォーク）の修了試験の外国語（英、中国、スペイン、ポルトガル語）受験を可能とした。また、技能講習等 WEB 申込み受付を中心とした新しい講習会管理システムを本年度に開発し、平成 24 年 3 月から運用を開始した。

- (3) また、当協会の会員数については、平成 5 年の 5,525 会員数をピークに減少を続けてきた。今年度の主要事業として、各種 PR や入会パンフレットの作成と送付、募集強化月間の設定等により、本部・支部挙げて会員獲得活動を展開した。新規会員の入会は 105 会員（前年度 63 会員）と一定の結果を得たが、退会は 174 会員（前年度 176 会員）と減少傾向が続いた。結果として、平成 23 年度末の会員事業場数は 4,101 事業場（前年度末比 69 事業場減）となった。従業員数についても、約 607,700 名（前年度末比 4,900 名減）と減少した。引き続き、本部・支部ともに新規会員獲得活動を通年的に粘り強く取り組まなければならない。

(4) このような事業環境の下で、当年度決算は受講者数の大幅減少（1,529名）等による大幅減収により、各種努力では吸収できず1,768万円の減価償却費を含めて、2,543万円（前年度1,117万円）の正味財産の減少となった。本部・支部ともに事業運営収支改善が大きな課題となった。

(5) 平成23年の神奈川県における労働災害は、遺憾ながら休業4日以上死傷者数は6,593名と前年比19名の増加、死亡災害については54名と前年比2名の増加となった。この数値は、平成24年を最終年とする第11次労働災害防止推進計画の目標達成に向けては、特段の努力が必要であることを示唆している。

協会専門委員会では近年の労働災害発生状況を踏まえて、事業内容・教育手法の検討を行い、セミナー・技能講習のカリキュラム・テキストの見直しや、フォークリフト安全運転技能の競技大会を開催し、労働災害防止の啓発に努めた。

労働衛生関係では高齢化やストレス増加、そして生活習慣の変化などの要因による、定期健康診断結果の有所見者が54.0%に達し、また、過重労働による脳・心臓疾患の労災請求・支給決定件数は増加に転じ、精神障害の請求・支給決定件数は増加傾向が続いている。協会では専門委員会を中心にセミナー・講習を開催したほか、神奈川産業保健推進センター、神奈川健康づくり推進会議と連携しTHPの普及啓発に努めた。

(6) また、神奈川県からの受託事業である「かながわ子育て応援団」認証取得促進事業を推進してきた。同事業により、60事業場が神奈川県条例に基づく「かながわ子育て応援団」の認証を取得した。さらに、中央労働災害防止協会神奈川県支部として、小規模事業場の自主的な安全衛生活動を支援する「団体安全衛生活動援助事業（たんぼぼ計画）」及び全国労働基準関係団体連合会神奈川県支部として「新規起業事業場就業環境整備事業」などを推進してきた。

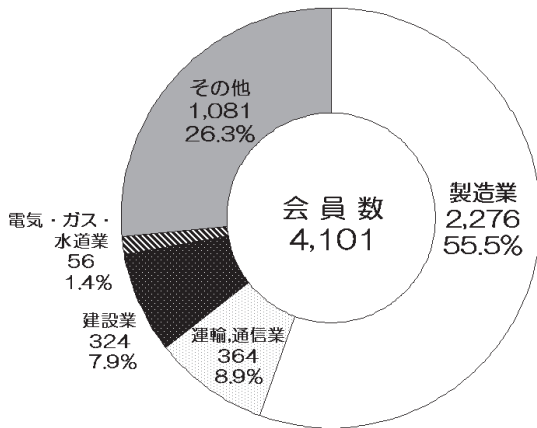
また、「人事・労務管理実践セミナー」（11回、延参加者数321名）や「安全衛生管理実践セミナー」（1回、同43名）を開催し、人事・労務及び安全衛生分野における最新情報を提供するとともに、「事業場内メンタルヘルス推進担当者養成研修」「リスクアセスメント研修」「総括安全衛生管理者セミナー」（同108名）を中央労働災害防止協会との協賛により実施した。

(7) 平成23年は、我が国の産業界で大正元年に自主的な「安全専一」という安全運動が開始されて100年という節目の年であった。これまでの先人の安全にかけた思いと活動を想起し、未来にその安全の心をつないでいくための諸活動を展開していかなければならない。

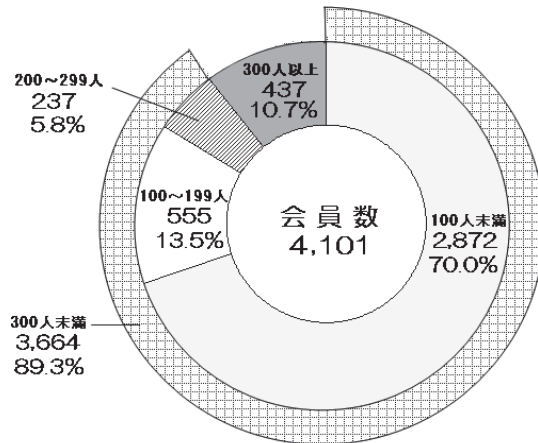
平成 24 年 3 月末現在会員数及び会員構成

支 部 名	会 員 数	支 部 名	会 員 数
川 崎 北	228	横 須 賀	249
川 崎 南	366	藤 沢	358
鶴 見	228	平 塚	401
横 浜 北	444	小 田 原	331
横 浜 南	307	相 模 原	400
横 浜 西	274	厚 木	515
		計	4,101

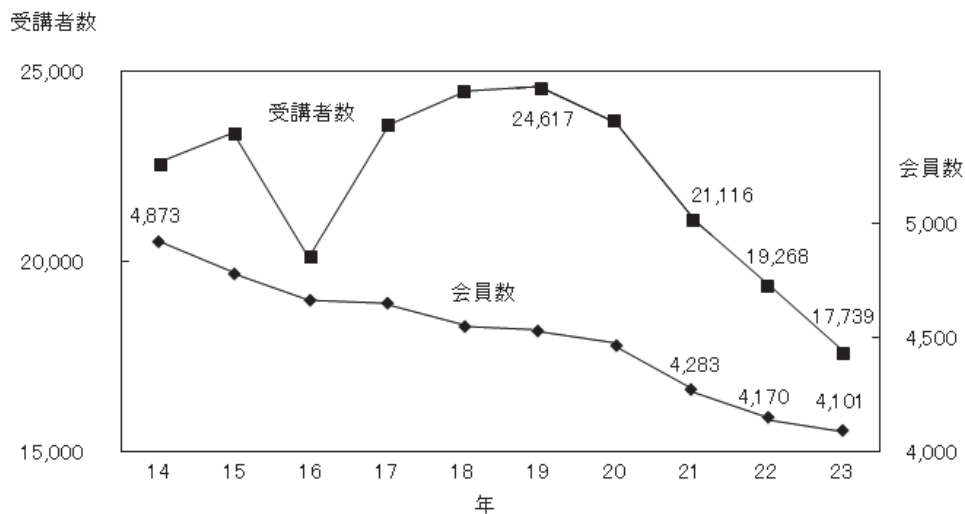
1. 業種別会員数



2. 規模別会員数



3. 会員数及び受講者数



2 主要事業報告

【1】技能教育関係

講習名		回数	人員	講習名		回数	人員		
技能講習	作業主任者技能講習	プレス機械	6	276	免養 許成 取得 講習	クレーン・デリック（クレーン限定）運転士	1	9	
		乾燥設備	4	339		第一種衛生管理者	7	424	
		足場の組立て等	8	453		第二種衛生管理者	4	136	
		木材加工用機械	1	43		エックス線作業主任者	2	126	
		はい	4	176		小計	14	695	
		鉛	1	57	講習	局所排気装置等定期自主検査者	5	250	
		酸素欠乏・硫化水素危険	23	1,736	小計	5	250		
		特定化学物質及び四アルキル鉛等	17	1,284	能力 向上 教育 等	安全管理者（定期・随時）	2	50	
		有機溶剤	24	2,087		衛生管理者（定期・随時）	1	30	
		石綿	3	151		フォークリフト運転業務従事者	1	28	
	習等	技能講習	玉掛け	35	2,319	小計	4	108	
			フォークリフトA・B	10	226	救急法	基礎 + 短期	4	96
			フォークリフトC・D	74	1,571		小計	4	96
			ガス溶接	16	745	計			
床上操作式クレーン運転			12	688					
高所作業車運転			4	136					
安全管理者選任時	28	915							
安全衛生推進者養成	14	456							
衛生推進者養成	6	192							
小計		290	13,850						
特別教育	動力プレスの金型等の業務	6	165						
	電気取扱業務	6	380						
	クレーンの運転の業務	14	768						
	研削といしの取替え等の業務	8	545						
	アーク溶接等の業務	6	353						
	フォークリフト運転の業務	3	53						
	産業用ロボットの業務	2	126						
	第二種酸素欠乏危険作業 ダイオキシン類作業	3 6	80 270						
小計		54	2,740						

【2】研修会関係

研修会等	回数	人員
火災爆発防止講習会	1	95
安全衛生実務レベルアップ教育	1	32
産業保健研修会	1	46
労働衛生工学講座	2	55
人事・労務管理実践セミナー	11	321
安全衛生管理実践セミナー	1	43
事業場内メンタルヘルス推進担当者養成研修	1	24
リスクアセスメント研修	1	52
総括安全衛生管理者セミナー	1	32
計	20	700

【3】行事・競技大会関係

① 神奈川労務安全衛生大会

平成 23 年 11 月 8 日 新都市ホール 参加者 466 名
来賓挨拶 神奈川労働局長 及川 桂
" かながわ労働センター所長 市野澤国冠
" 横浜市経済局市民経済労働部長 市川 延央
" 中央労働災害防止協会常務理事 野口 直人
第一部 表彰式（被表彰者氏名は 10 頁参照）
・労務安全衛生功労賞 51 名
・支部別安全競争入賞 4 支部
第二部 特別講演 諏訪東京理科大学共通教育センター教授
篠原 菊紀

② 労務安全衛生管理夏季講座

平成 23 年 10 月 26 日 ホテル横浜ガーデン 参加者 69 名
来賓挨拶 神奈川労働局労働基準部長 小松原正俊
特別講演 神奈川労働局雇用保険監察官 山城 章
" 神奈川労働局監督課長 黒部 恭志
分科会 2 分科会に分かれて研究討議

③ 神奈川衛生管理者交流会

平成 24 年 1 月 25 日 ホテル横浜ガーデン 参加者 44 名

④ フォークリフト安全運転技能競技大会

平成 23 年 9 月 4 日 伊勢原フォークリフト教習所 参加者 37 名
(内協会関係 17 名)

⑤ 第 11 回交通労働災害防止推進大会（神奈川労働局、県下災防団体共催）

平成 23 年 12 月 5 日 男女共同参画センター横浜「フォーラム」
参加者 193 名
(内協会関係 27 名)

【4】刊行物関係

- ① 機関誌「労務安全衛生かながわ」12 回発行（1 回発行部数約 8,600 部）
- ② 2012 年版労務安全衛生手帳 3,120 部
- ③ 各種テキスト改訂

【5】部会・専門委員会活動

企画部会

協会事業の運営を図るための審議をし、事業の推進に大きな役割を果たした。

広報委員会

協会機関誌“労務安全衛生かながわ”を通巻 746 号～757 号発行した。

編集にあたっては、読者に「読まれ」「親しまれ」「役立つ」を目指し、内容も
神奈川労働局の広報記事や委員会、各支部会員の情報記事等を掲載した。

教育委員会

労務安全衛生管理に関する諸問題を中心に経営者、管理者、監督者などを対象
に各種研修会を企画・実施し、時勢の変化に対応すべく教育内容の更なる充実を
図った。

東日本大震災を教訓とすべく「災害時における安全・健康管理上の使用者の配慮
義務について」のテーマで夏季講座第 1 分科会を労務管理委員会と合同で担当
した。

労働災害統計委員会

半期毎の災害統計を集約し、分析結果を再発防止に活かすべく協会機関誌に
掲載するとともに、支部別安全競争入賞支部を表彰した。

傷病統計委員会

活動内容を疑問視する声があり活動を休止した。

労務管理委員会

労働環境の確保・向上への講座を通じ、労働条件の改善、労働福祉対策など
労務・安全管理対策への啓発事業を推進した。

また「第 11 次労働災害防止推進計画」の目標に向けて、今後の安全衛生活動
へ活かす機会となった。

東日本大震災を教訓とすべく「災害時における安全・健康管理上の使用者の配慮
義務について」のテーマで夏季講座第 1 分科会を教育委員会と合同で担当
した。

プレス委員会

委員が「プレス機械作業主任者技能講習」「プレス金型特別教育」の講師を
担当した。

「プレス機械作業主任者技能講習」修了試験の見直しを行った。

プレス機械作業主任者技能講習用テキスト「プレス災害防止総合対策」の改訂
を行った。

クレーン委員会

委員が「床上操作式クレーン運転技能講習」「玉掛け技能講習」「クレーン運転特別教育」の講師を担当した。

玉掛け技能講習用テキストの見直しを行った。

溶接委員会

委員が「ガス溶接技能講習」「アーク溶接特別教育」の講師を担当した。

「ガス溶接技能講習」修了試験の見直しを行った。

電気委員会

委員が「電気取扱特別教育」の講師を担当した。

火災爆発災害対策委員会

火災爆発防止講習会を『「静電気による火災爆発防止対策の基礎と事故事例」～実験による静電気体験学習及び火災爆発事故事例とリスク管理～』のテーマで開催した。

委員が「乾燥設備作業主任者技能講習」の講師を担当した。

火災・爆発災害事例研究を行い、その結果を協会機関誌に掲載した。

フォークリフト委員会

「フォークリフト安全運転技能競技大会」を陸災防と合同で開催した。

委員が「フォークリフト運転技能講習」「フォークリフト運転特別教育」「フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育」の講師を担当した。

「フォークリフト運転技能講習」修了試験の見直しを行った。

一般機械災害対策委員会

在来型災害（はさまれ、巻き込まれ、切れ、こすれ）防止対策の事例研究を行い、その結果を協会機関誌に掲載した。

保健対策委員会

労働衛生専門職種の総合力が発揮されるよう関連各専門委員会と連携協力を努め、産業保健各分野の一層の充実に寄与した。

平成 23 年度健康指標に係る調査を実施した。

委員が「第一種衛生管理者養成講習」ほかの講師を担当した。

労働衛生技術委員会

「労働衛生保護具の種類と活用方法」「職場における化学物質管理のすすめ方」をテーマに労働衛生工学講座を 2 回開催した。

委員が「局所排気装置等定期自主検査者講習」「ダイオキシン類特別教育」の講師を担当した。

衛生管理推進委員会

「衛生管理業務の課題と解決策」のテーマで衛生管理者交流会を開催し、衛生管理者の役割についてグループディスカッションを中心に研修した。

『自然災害に対する安全衛生上の対応について』～東日本大震災を事例として～のテーマで夏季講座第1分科会を教育委員会、労務管理委員会と合同で担当した。

神奈川産業保健推進センターと共催で、衛生管理実務講座を開催した。

委員が「衛生管理者能力向上教育」の講師を担当した。

産業保健活動委員会

産業保健職・人事担当者等を対象に、『メンタル不調者に関する最新の知見』～うつ病患者に対する対応と薬物療法について～と題し研修会を開催した。

『メンタル不調者への対応』～職場のとまどいの解消に向けて～のテーマで夏季講座第2分科会を担当した。

産業保健活動を広く進めるため、各支部内での組織化を進めた。

救急法指導委員会

「救急法（基礎+短期）講習」を開催し、救急法の普及と救急救命・応急手当等の技術向上に努めた。

委員が「酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者」の救急法実技の講師を担当した。

卸売小売業委員会

卸売小売業におけるより良い労務安全衛生管理を進めるために、店長・マネージャー・労務安全衛生担当者などを対象とした「労務安全衛生管理研修会」を協会主催のハラスメントに関する「人事・労務管理実践セミナー」を活用して開催したほか、店舗における日常の労務安全衛生管理活動の活性化について情報の交換に努めた。

3 会議報告

【通常総会】

平成23年5月31日、横浜ベイシェラトンホテル& Towersにおいて通常総会を開催した。議案は、すべて原案どおり承認された。

【理事会】

第1回 平成23年4月26日 第2回 平成23年5月31日
第3回 平成24年2月23日

【副会長会議】

第1回 平成23年7月26日 第2回 平成23年10月5日
第3回 " 24年2月7日

【部会】

企画部会

第1回 平成23年6月23日 第2回 平成23年8月30日
第3回 " 11月11日 第4回 " 24年2月15日

【支部連絡会議】

第1回 平成23年5月13日 第2回 平成23年7月20日
第3回 " 9月8日 第4回 " 12月9日
第5回 " 24年1月20日 第6回 " 24年2月29日

【資産管理運用検討委員会】

第1回 平成23年7月26日 第2回 平成23年10月5日
第3回 " 24年2月7日 第4回 " 24年4月11日

【役員候補者選出委員会】

平成24年4月11日

【関係団体会議】

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 神奈川労働局 | 神奈川メンタルヘルス対策推進連絡会議 |
| 2. 中央労働災害防止協会 | 総会・理事会・業務連絡会議 |
| 3. 全国労働基準関係団体連合会 | 総会・理事会・業務連絡会議 |
| 4. 神奈川産業保健推進センター | 産業保健推進センター運営協議会 |
| 5. 神奈川県交通安全対策協議会 | |
| 6. 神奈川健康づくり推進会議 | |

4 表 彰

(1) 協 会

平成 23 年度神奈川労務安全衛生大会の席上、次の方々及び支部を表彰した。

<労務安全衛生功労賞>

三澤 多恵子	パナソニックモバイルコミュニケーションズ(株)	武部 正臣	日本精工(株)藤沢工場
江藤 公治	クノール食品(株)川崎事業所	小笠原 仁志	(株)藤田電機製作所
日下部 均	旭ダイヤモンド工業(株)玉川工場	薦 圭 司	浜ゴムエンジニアリング(株)
松尾 玲奈	三菱ふそうトラック・バス(株)	虻川 直成	(株)DNPアイ・エム・エス狭山工場
鈴木 文彦	プレス工業(株)本社・川崎工場	水島 禎裕	NECディスプレイソリューションズ(株)
村上 信介	京浜物流(株)	露木 久永	中谷商工(株)
鈴木 栄一	(株)東芝マイクロエレクトロニクスセンター	安藤 博幸	協栄産業(株)
小湊 昭雄	東芝小向地区安全衛生協会	粕谷 亨	(株)昭和真空
横田 清美	旭化成ケミカルズ(株)川崎製造所	小宮山 建樹	日本山村硝子(株)東京工場
大久保 拓磨	(株)京三製作所	佐藤 哲男	KYB(株)相模工場
保科 誠	保土谷化学工業(株)横浜工場	池田 広	アツギ(株)
本庄 忠信	(株)J-オイルミルズ横浜工場	田邊 淳一	大和プレス(株)
車 正裕	楠原輸送(株)	井上 孝芳	日立オートモティブシステムズ(株)厚木事業所
神田 幸雄	太陽油脂(株)	熊谷 毅	自動車部品工業(株)
中村 吉秀	(株)さんでん横浜支社	持田 孝	日産自動車(株)テクニカルセンター
藤田 栄二	三菱重工業(株)横浜製作所	加藤 哲也	旭硝子(株)相模工場
星崎 徹	(株)バンテック	桑田 洋	アンリツ(株)
窪田 二郎	日本飛行機(株)航空宇宙機器事業部	関 明美	(公社)神奈川労務安全衛生協会厚木支部
松井 利泰	リバースチール(株)	吉田 哲治	JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所
大井 英一郎	(株)野村総合研究所	篠原 美也子	(学)北里研究所 北里大学病院
進藤 哲夫	(株)有隣堂	清水 智意	医療法人社団こうかん会 水江診療所
鈴木 幸夫	カルソニックカンセイ(株)追浜工場	佐藤 一郎	(公社)神奈川労務安全衛生協会
富澤 徹	関東化成工業(株)		
高橋 智則	日産自動車(株)追浜工場		
須藤 覚	湘南CORUN ENERGY(株)		
佐藤 彰作	東海カーボン(株)湘南事業所		
江越 幸治	いすゞ自動車(株)藤沢工場		
本間 清司	日本ギア工業(株)		
境 修	プレス工業(株)藤沢工場		

<支部別安全競争入賞>

優勝	(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部
準優勝	(公社)神奈川労務安全衛生協会横浜南支部
努力賞	(公社)神奈川労務安全衛生協会川崎南支部
向上賞	(公社)神奈川労務安全衛生協会川崎北支部

(2) 厚生労働省

① 厚生労働大臣表彰及び顕彰

厚生労働大臣 奨励賞

古河電気工業(株)横浜事業所
日本アイ・ビー・エム(株)大和事業所

厚生労働大臣 功績賞

芦田 敏文 日本作業環境測定協会神奈川支部事務局長
神奈川県予防医学協会環境科学部長
小川 朝男 日本労働安全衛生コンサルタント会前神奈川支部長
C S P 労働安全コンサルタント
小川朝男技術士労働安全コンサルタント事務所所長

安全優良職長厚生労働大臣顕彰

本間 雅明 京浜物流(株)
稲垣 裕男 住重フォーミング(株)

② 神奈川労働局長表彰

神奈川労働局長 優良賞

(株)日立グローバルストレージテクノロジーズ藤沢事業所

神奈川労働局長 奨励賞

朝日オフセット印刷(株)
花王ロジスティクス(株)相模原センター
中央エース物流(株)本社・東扇島第一低温営業所
日産車体(株)秦野事業所
(株)ニューフレアテクノロジー横浜事業所
(株)不二工機玉川工場
NSMコイルセンター(株)横浜事業所
菱重エステート(株)相模原支社
住友金属鉱山(株)機能性材料事業部相模工場
ソニー・エルエスアイ・デザイン(株)
(株)富士防

神奈川労働局長 功績賞

荒井 秀一 林業・木材製造業労働災害防止協会相模原分会長

神奈川県労働局長 安全衛生推進賞

遠藤 一郎	建設業労働災害防止協会神奈川支部 横須賀分会事務局長 神奈川県木造家屋建築工事等災害防止協議会 横須賀地区会事務局長
久保田 豊彦	(公社) 神奈川県労働安全衛生協会横浜北支部事務局長
酒井 明	陸上貨物運送事業労働災害防止協会神奈川県支部 川崎南・川崎北分会事務局長
田中 浩	(公社) 神奈川県労働安全衛生協会厚木支部事務局長
能勢 俊一	神奈川県産業保健推進センター基幹相談員

(3) 中央労働災害防止協会

① 緑十字賞

北代 康敏	(公社) 神奈川県労働安全衛生協会藤沢支部専任講師
奥山 和彦	(株)ミクニ小田原事業所小田原総務室 (公社) 神奈川県労働安全衛生協会小田原支部理事 (全国産業安全衛生大会時 平成 23 年 10 月 12 日)

② 中小企業無災害記録証

中井開発(株)生産部	3,000 日 (第 3 種)
ジュジュ化粧品(株)厚木本社工場	600 日 (第 1 種)

③ 全国 T H P 推進協議会表彰

全国 T H P 推進協議会 進歩賞

出光ルブテクノ(株)
中外製薬(株)鎌倉事業所

全国 T H P 推進協議会 功労賞

小野田富貴子	富士通(株)健康推進本部産業保健指導センター長
樋口 義弘	(株)日立製作所通信ネットワーク事業部 総務部安全衛生 G 部長代理